

教育の質の向上に係る取組

全学的な取組

教職特任教授

教職に関する授業の担当、教育実習事前事後指導、教育実習中の指導、教員採用試験対策（志願書添削、面接、模擬授業など）を主な業務とする教職特任教授を3名配置している。全員が校長等の経験者であり、人選にあたっては富山県教育委員会に全面的に協力を得ている。また、任期を原則3年とすることで、学校教育現場の「今」が常に学生に伝わり、教職を目指す学生にとって大変貴重な学びの機会を提供してもらっている。

教職実践演習

「教職実践演習」は少人数クラスで実施し、クラス担当教員として退職校長等を多数採用することで、現場経験者による実践的指導を重視している。

教員採用セミナー

教育委員会や教育センターの現職教員の方々に講師をお願いし、学校現場で求められる教員の資質や能力について講演してもらっている。

その他特色のある取組

体験学習科目の開設

富山県教育委員会との連携の下で、学生を小学校に派遣して教師の補助的な活動を行う「学級担任論」と、各種機関との連携によって学校以外の様々な場で幼児から青年と関わる「子どもとのふれあい体験」を授業科目として開設している。（人間発達科学部）

附属学校園等との連携

附属学校園及び堀川小学校の研究会への参加を促し、学校現場で行われる教育実践研究を学ぶ機会を設けている。（人間発達科学部）

教員実地指導等

現場の教師や教育委員会の指導主事等が大学の講義や教育実習事前指導の一部を担当し、学校現場で教師に求められる能力について学ぶ機会を設けている。（人間発達科学部）

地域との連携

- ・富山県教育委員会との連携事業の一環として、学生を学校に派遣し児童生徒を支援しつつ現場体験をさせるスタディ・メイトジュニア、学びのアシスト、心のサポーター、観察実験アシスタントなどのプログラムを設け、希望する学生を派遣している。
- ・企業との連携による実践的なものづくり教育を実施するとともに、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を受けて質の向上を図っている。（工学部）
- ・市内の中学校や高等学校への授業見学、高岡工芸高等学校との高大連携による実習授業を実施している。（芸術文化学部）

学生へのフォロー体制等

- ・指導教員制度などを通じて、教職希望学生の履修指導及び教育相談等を行っている。（人文学部）
- ・助言教員制度や卒論指導を通じて、教職希望学生の履修指導及び教育相談等を行っている。（理学部）
- ・メンター制度によって教職履修に関わる疑問や不安の解消に取り組んでいる。また、学部4年間に関わる教職スケジュール表の提示とともに、研究スケジュールの立て方の指導を行っている。（芸術文化学部）